

第2号様式の6 (第11条の4の11関係)

自衛消防訓練実施結果記録書			
実施日時	令和5年 11月 22日 14時 45分 から 15時 45分 まで		
実施場所	小規模多機能すずかぜ東山		
実施範囲	全体・部分 (棟 階)		
訓練想定 (該当する□にチェックをし、具体的な内容を記載する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 火災 ・ <input type="checkbox"/> 地震 ・ <input type="checkbox"/> その他の災害 () 具体的な内容： 2F 事務所机下のマルチタップに溜まったホコリが原因での出火 避難誘導訓練・通報訓練後、AED 訓練、水消火器を使った消火訓練を実施。		
訓練項目等 (該当する□にチェックをし、参加人員を記入する。)	<input checked="" type="checkbox"/> 総合訓練		名
	個別訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練	7名
		<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	17名
<input type="checkbox"/> その他 ()		名	
訓練参加者内訳	従業者・お客様等 (全員・一部) 16名 (うちパート・アルバイト 名) 参加者内訳：自衛消防隊員 1名 自衛消防活動中核要員 名 (うち 本部長核要員 名 (うち 防災センター要員 名) 地区中核要員 名)		
訓練指導者	職 管理者 氏名 山口 幸子		
結果への意見	全体の評価	全員が真剣に取り組み、概ねスムーズに行う事が出来た。 14時45分に火災報知器発動後、建物北側駐車場に避難、安否確認報告までの所要時間が約5分35秒であった。	
	推奨事項	避難誘導する際の声掛けがしっかりなされ、速やかな対応が出来ていた。 通予報訓練では落ちついて状況を伝えることが出来た。 消火訓練やAED訓練も本番さながらに実施する事が出来た。	
	反省点	今回の出火元が2Fであった事、レクリエーション終了後で居室にお客様が居なかった事から、非常口は使わず玄関からの一方向避難となった。 2Fが火元の場合は玄関と居室(非常口)の二方向避難とする。	
記録作成者	職 管理者 氏名 山口 幸子		

備考1 総合訓練とは、火災の覚知又は発見から消防隊到着までの初期消火、通報連絡、避難誘導、消防隊への情報提供などの一連の自衛消防活動に係る訓練をいう。

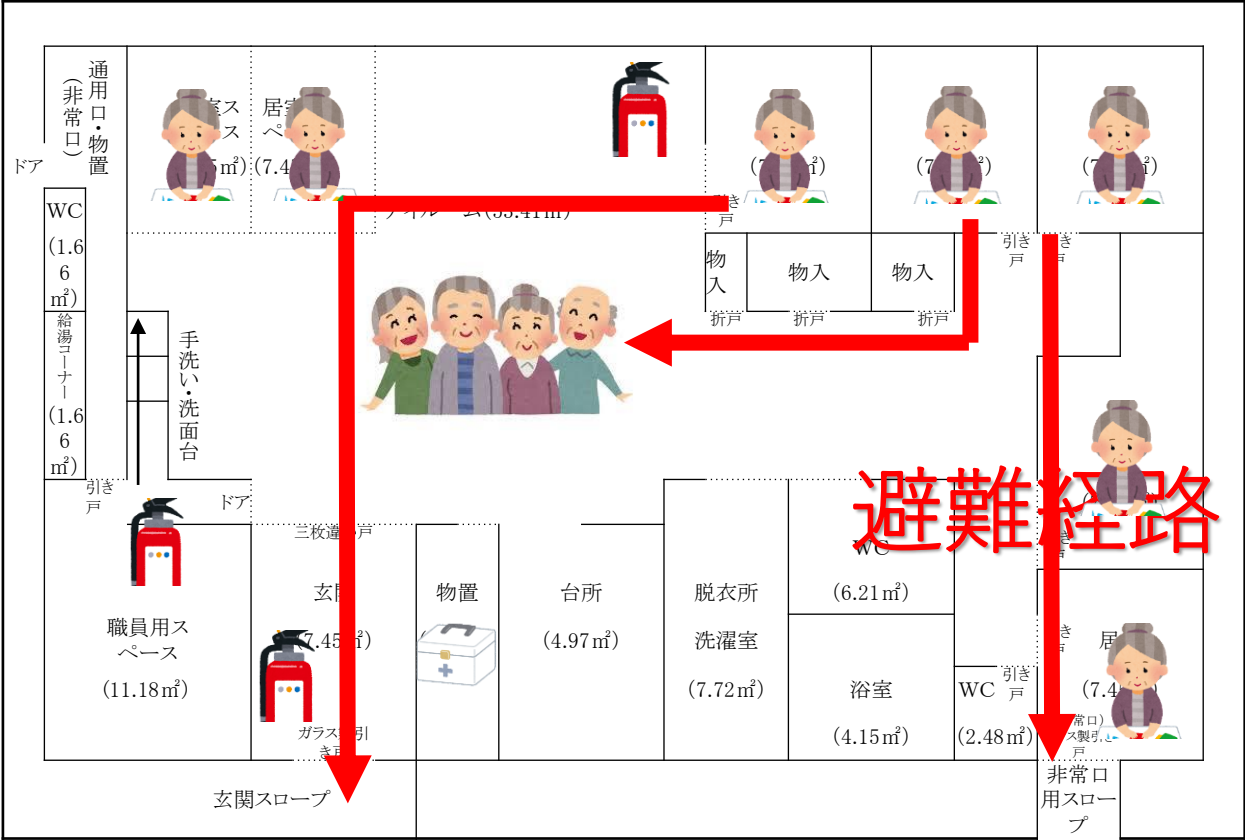
2 訓練の事前計画や実施記録等を別に作成した場合は、添付しておくこと。

3 自衛消防訓練実施結果記録書は、3年間保存すること。

11月22日避難訓練マップ

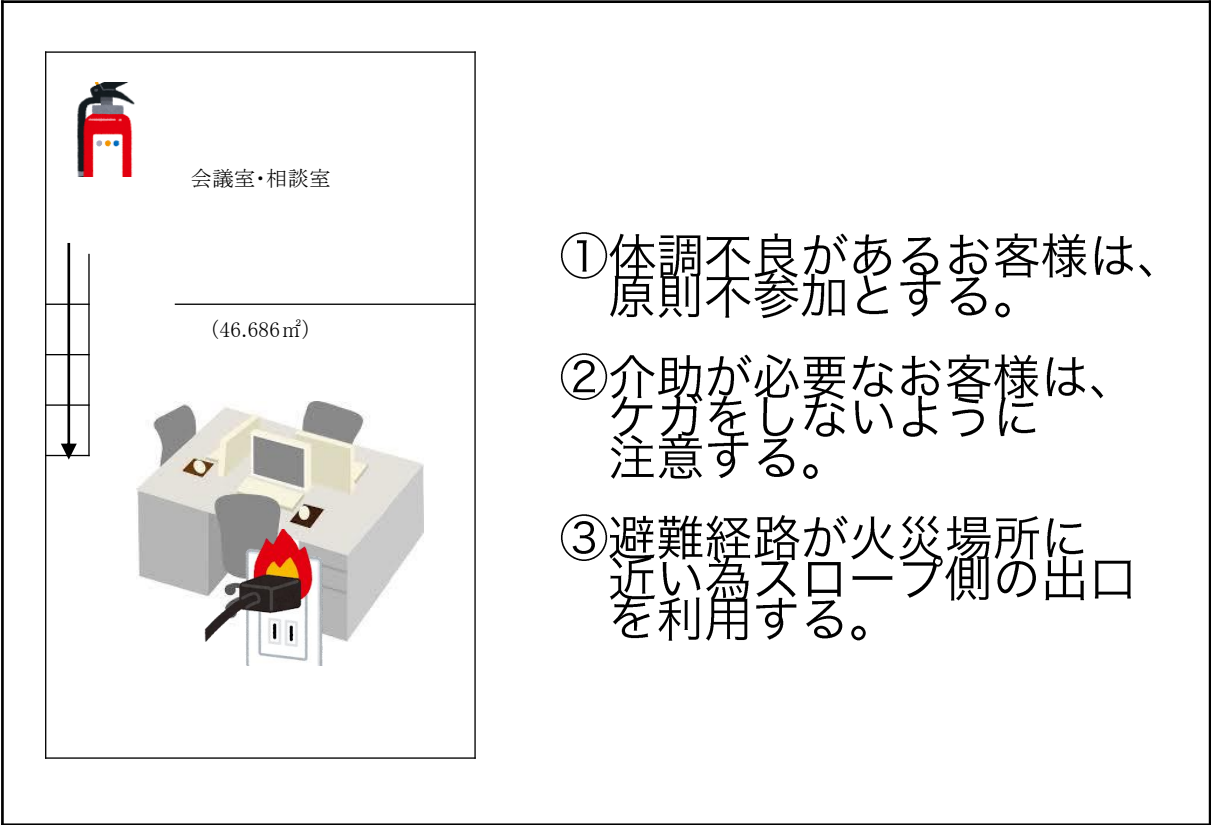
事業所・施設の名
称 すすかぜ

1F



事業所・施設の名
称 すすかぜ

2F



- ①体調不良があるお客様は、原則不参加とする。
- ②介助が必要なお客様は、ケガをしないように注意する。
- ③避難経路が火災場所に近い場合は、スロープ側の出口を利用する。